

# 中小製造業の現場に学ぶ実践的リスクマネジメント（社会安全）教育



梅田キャンパスにおいて間崎氏による講演

# リスクマネジメント  
# 工場安全  
# 実践教育

## DATA

- **主な連携先・メンバー**  
株式会社センエイ 代表取締役 間崎 泰光氏  
社員のみなさん
- **活動地域**  
大阪府高槻市・関西大学高槻ミュージックキャンパス  
大阪府岸和田市（大阪木材コンビナート）
- **活動期間**  
2025年3月から継続中
- **活動資金**  
関西大学社会安全学部実習費

## 目的

製造業の現場を教材として、安全・危機管理を理論と実践の両面から学ぶこと。

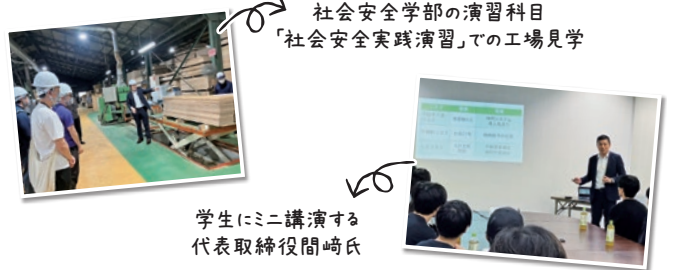
## 連携に至る経緯

亀井と株式会社センエイ代表取締役間崎氏が大学時代の野球の先輩後輩であることから、2025年3月に講演会が実現した。加えて、社会安全学部の社会安全実践演習において従来より課外学習として企業訪問に力を入れ、グルメ杵屋株主総会見学やアドバンスクリエイト訪問などを行ってきたが、今回、初の試みとして、製造現場の安全管理を学ぶ目的から、度重なる災害や経営判断を乗り越えてきた株式会社センエイとの連携に基づき、6月11日工場見学が実現した。

## 活動内容

社会安全学部の演習科目「社会安全実践演習（危機管理計画立案）」において、株式会社センエイの協力のもと工場見学・講話を実施した。事前学習として企業概要や過去の災害・事故対応を学び、当日は合板加工工場の各工程、安全対策、DXやBCPの取り組みを現地で確認した。さらに、集塵機火災や台風被害、九州工場閉鎖といった具体的な

リスク事例について、経営者自らの判断と行動について解説いただき、教室では得られない「判断の重さ」や「現場の知恵」を体感的に学習した。見学後は学生がレポート・感想文を作成し、理論と実践の接続を図っている。



社会安全学部の演習科目「社会安全実践演習」での工場見学

学生にミニ講演する代表取締役間崎氏

株式会社センエイ代表取締役間崎氏、社員の方々、学生、教員が意見交換

## 連携先からの一言

大学で学ぶ理論が、現場ではどのように生かされるのかを学生の皆さんに伝えられる貴重な機会となっています。若い世代との対話は、私たちにとっても学びです。

(株式会社センエイ社員)

## 活動の成果

- ≫ 学生のリスク感性・現場理解の向上
- ≫ 理論と実務を結ぶ実践教育モデルの確立
- ≫ 中小企業の危機対応事例の可視化

## 今後の課題・目標・展開の可能性

- ≫ 書籍に掲載ならびにケース教材化による教育資源の共有
- ≫ BCP・安全教育分野での継続連携
- ≫ 他製造業への横展開

社会安全学部 教授 亀井 克之 Kamei Katsuyuki



社会安全実践演習 危機管理  
計画立案担当者



社会安全学部 教授 吉田 裕 Yoshida Yutaka



社会安全実践演習 危機管理  
計画立案担当者



社会安全学部 教授 伊藤 大輔 Ito Daisuke



社会安全実践演習 危機管理  
計画立案担当者



社会安全学部 教授 林 能成 Hayashi Yoshinari



社会安全実践演習 危機管理  
計画立案担当者



社会安全学部 教授 桑名 謹三 Kuwana Kinzo



社会安全実践演習 危機管理  
計画立案担当者



社会安全学部 助教 大野 哲之 Ono Akiyuki



社会安全実践演習 危機管理  
計画立案担当者

